九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[015_01] 九州大学理学部研究報告. 地質学

https://hdl.handle.net/2324/4495625

出版情報：九州大学理学部研究報告. 地質学. 15 (1), 1987-03-15. 九州大学理学部
バージョン：
権利関係：

記念論文集の刊行にあたって

高橋良平教授，勘米良亀齢教授，山口勝教授の３先生は，それぞれ本年63才の誕生日を迎えられます．ところで勘米良，山口両先生は，昭和62年の春定年退職される予定であります．高橋先生は，11月に九州大学々長に就任され，４月１日から理学部を離れて学長職に専念される予定であります．

これまで地質学教室の慣例では，定年退職される先生方に対し，教室主催による事業として，「記念事業会」を設立し，門下生，卒業生，ならびに関係者の賛同を得，若干の醵金を集め記念事業を行って参りました．記念事業の内容としては，「記念論文集の刊行，御肖像写真の作製，記念品の贈呈，記念祝賀会の開催」などが主な行事であります．

これまで記念事業を行ってきた先生方は，冨田達先生（昭和39年），吉村豊文先生（昭和44年），松下久道先生（昭和48年），鳥山隆三先生（昭和50年），松本達郎先生（昭和52年），種子田定勝先生（昭和55年）の６人の先生方であります．

ところで，種子田先生の記念事業会の設立の際，今後の退官の先生の記念事業について話し合いをいたしました．その時，当地質学教室は，昭和14年創設以来，今日まで東京大学，京都大学出身の先生方の御尽力と御骨折により，今日の様な立派な教室になった．しかし，今後は教授退官に際しては，これまでの様な「記念事業会」は設立せずに，簡単にすべきではないかという意見が出され，大部分の人が同意いたしました．

このような事情から，去る昭和60年３月御退官の首藤次男先生の場合が，その第１回にあたり「記念事業会」は設けず，教室内の門下生による論文集と記念祝賀会で，御祝を行った次第であります．今回は，第２回目にあたりますが，偶然にも上記の３先生が御一緒に理学部を去られる事になりました．そこで，教室に残るものが相集い，相談した結果，教室内の門下生による論文集と，先生方の略歴，研究業績，および肖像写真等を一冊にまとめて出版することに致した次第であります．

御先輩，同僚，卒業生，および門下生の方々には，いろいろと御意見なり，御不満がおありかと存じますが，私共の真意をお汲みとりいただき，何卒御寛容下さいますようお願いいたします．

昭和61年10月31日

九州大学理学部地質教室

廣渡文利

外　一　同